

対象学年	1 学年	科目名	フローリスト演習 I	担当名	福本 真知子
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	業態別のフローリストの業務の流れと実務のアウトラインを習得する。また、フラワーショップの基礎業務(水揚げ、ラッピング等)を実践する。
学習内容	ショップ、生け込み、婚礼など幅広い実績を持つ現役フラワーコーディネーターによる指導で、フラワーショップ、国内外のウェディングフラワー等、様々な業態の業務とその流れ、及びフローリスト実務の基本を習得する。
成績評価の方法と基準	小テスト・課題点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	フローリストとしての自覚を持ち、花材や道具の取り扱いに注意を払うこと。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	『フローリストの基礎知識』①花形花序、葉形葉序、種子や球根植物など、一般的に生花店に並ぶ花材についての基礎知識を習得 ②配布された資料、道具の取り扱い方説明	筆記用具、ハサミ、ナイフなど 手持ちの道具 全部(ブークスタンドを除く)	
2	『花の扱い』水あげ方法の習得。小さな箱に、生えているようなミニアレンジを作成し、花材の扱いを学ぶ。	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、袋、ホチキス、セロテープ	
3	『ラウンドブーケ&ブートニア』ラウンドアレンジメントの応用。ブーケホルダーとグルーの扱いを体験する。ワイヤリング基礎編	ハサミ類、ハケポット、ブークスタンド、ワイヤー、フラワーテープ、ホチキス	ブーク解体後、ワイヤリングの練習を!
4	『パーティカル①』花の配置についての基礎を学び、アレンジメントの基本になる重要なスタイルを習得する。	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、フラワーテープ、袋、セロテープ、ホチキス	重要!! 必ず復習すること!
5	『トライアングル』お祝い、お悔やみetc...生花店で出番の多いアレンジの基本形をマスターする。	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、袋、ホチキス、セロテープ	アレンジ解体後、ワイヤリングの練習を!
6	『生け花の知識』日本独自のアレンジメント【生け花】について、その知識と基礎を知る	ハサミ類、ハケポット、袋	授業後、次週まで花材を管理すること
7	『花束①』スパイラルテクニックとグルーピング。花束ラッピングの基本、花の管理を学ぶ。	『生け花』の花材、ハサミ類、ハケポット、袋	授業後、次週まで花材を管理すること
8	『コサージュ2種』ワイヤリングテクニックの習得	『花束①』の花材、ハサミ類、ハケポット、フラワーテープ、ワイヤー	残り花材で必ず復習を!
9	『リース』ガーランドテクニックの習得	ハサミ類、ハケポット、ワイヤー、フラワーテープ、袋	
10	『パーティカル②』応用を広げるために再講義。理解と技術習得を目指す。	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、フラワーテープ、袋	『パーティカル①』の復習しておくこと
11	『ダイヤモンド』パーティカル応用。2年次で制作するメインテーブルへのイメージ付け。	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、フラワーテープ、角皿、袋	アレンジ解体後、ワイヤリングの復習を!
12	『花束②パラレル』大ぶりの花材や枝ものを使った花束を作る	ハサミ類、ハケポット、袋	授業後、次週まで花材を管理すること
13	『花留め』吸水スポンジ以外の花留め方法と、花の向きを花に学ぶ	『花束②』花材、ハサミ類、ハケポット、袋	アレンジ解体後、ワイヤリングの復習を!
14	『パラレル』	ハサミ類、ハケポット、オアシステーブ、袋	
15	定期試験(実技)		